

() 昨年

	評価項目	項	自己評価	生徒評価	学校関係者評価	評価点	次年度に向けた改善策
1 進路 学習	基礎学力の向上 学習意欲の向上	1	1 年次のカルチベーションの学習を通して基礎学力が向上した。また、3 年次の選択科目で学習意欲を向上させることができた。	9 割以上の生徒が日常の授業に興味・関心を持ち、授業準備をしっかり行い、授業に取り組んでいる。	9 割以上の保護者が授業内容がわかりやすく、楽しく充実した授業を行っていると感じている。	4.0 (4.0)	1 年次のカルチベーションの授業内容の再考および改善を行う。校内授業参観を通して魅力ある授業作りを進める。また、学科やコースの特性を活かし、地域と連携した取り組みを行う。
	魅力ある授業	2	校内授業参観週間を年 2 回実施し、生徒がわかりやすい授業作りに取り組んだ。地域と連携した様々な取り組みを行い、授業の成果を発表した。	9 割以上の生徒が板書や資料が見やすく整理され、わかりやすい授業を行っていると感じている。	9 割以上の保護者が本校の教育活動は、他校にはない特色があるとしている。課題研究発表会では、来賓、保護者、地域住民から高い評価を得た。	4.7 (4.5)	
	計画的な進路指導	3	キャリア学習の定着が、資格取得への挑戦、地域との連携等、生徒が自らを高める活動に意欲的に取り組む姿が見られ、進路実現への意識は高くなっている。	約 8 割が進路情報や進路に役立つ資格取得ができていると感じている。又、進路指導を通して高校生活が充実できるよう取り組んでいきたい。	8 割が細かな進路情報の提供と個々に応じた指導が行われており、それらが結果としてあらわれていると感じている。保護者からの要望に応えられるような指導を継続したい。	4.0 (4.0)	産・官・学の地域と連携したキャリア学習の充実を模索したい。体験型キャリア学習を地域の理解、協力を得ながら進めたい。
2 生徒 指導	基本的生活習慣 授業規律の確立	1	基本的生活習慣の確立、安全意識の向上、授業規律の確立のため指導している。多くの生徒はルールを守り規律正しい生活を心がけている。	身だしなみ等はルーズで自分に甘い者がいると感じている生徒もいるが、授業に取り組む姿勢はほぼ全生徒がしっかりできていると感じている。	9 割近い保護者が、生徒は基本的生活習慣やマナーを守って生活していると感じている。9 割以上が学校の指導方針にも共感してくれている。	4.2 (3.3)	問題行動等の未然防止をさらに意識し、職員の意識・指導の統一を図る。信頼関係の構築を中心に置きつつ、基本的生活習慣・授業規律の確立、規範意識・安全意識・人権意識の向上を日々の生活の中で継続的に指導していく。
	道徳心の確立	2	挨拶励行、身だしなみ、時間厳守、清掃徹底、学校環境整備を行い、規範意識・人権意識の向上に取り組んだ。生徒も自主自立的に取り組んでいる。	挨拶や他者の立場や思いを尊重する姿勢が育っている。9 割以上の生徒が様々な姿面で仲間と協力共同し活動できていると感じている。	授業や行事等を通し、社会規範を守り挨拶等ができる生徒たちがほとんどであると感じている。	4.2 (3.9)	
	個々への支援教育	3	毎週、職員会議や朝会で生徒状況の情報の提供と共有を行って、個に応じた支援を行った。	5 割を超える生徒が「悩み事等、気楽に相談できる」と答えており、「普通」を加えると 8 割以上となっている。	4 割近い保護者が「とてもよく、適切に、相談に応じてくれる」と答えている。保護者の 8 割以上が、満足していると思われる。	4.2 (4.2)	より相談しやすい環境、態勢を作ると共に、情報の共有や研修を積極的に進める。
3 特別 活動	HR 活動を通じた 人間形成	1	年間 LHR 計画を策定し、学年進行に合わせながら、社会性を高めていく取り組みを行った。	9 割以上の生徒が HR 活動で、進路や生き方について学ぶ機会が与えられたとしている。	9 割以上の保護者がクラスが楽しく、安心できる場所になるように努力していると感じている。	3.8 (3.8)	HR 活動がより活発となり、クラス全体が積極的に関われるように工夫をこらす。
	生徒会・クラブ活動 を通じた集団作り	2	生徒総会、農林祭、農業クラブ各種行事（意見発表会、農業鑑定競技）等の準備・運営を通して、個々に責任を持ち、取り組んだことにより、高い達成感が得られた。	昨年より生徒会活動に関心を持っている生徒の割合が 5 割程になった。学校行事が楽しくなるように工夫している割合も 7 割近くに達した。	農業クラブ、部活動等様々な受賞や、各委員会活動、農林祭での生徒の頑張りにより、地域でも関心が高まってきていると思われる。更に生徒会・農業クラブも積極的に取り組みたい。	3.5 (3.2)	各委員会等の活動から生徒の自主性を育てるとともに、生徒同士が連携し協力して活動できるように努める。
4 地域 連携	PTA 活動の充実	1	P T A 総会や研修会の行事内容等を工夫して行うことができたが、参加者を増やす取り組みに課題が残った。		P T A 研修会の体験講座では、先生方のほかに生徒にも講師を務めてもらい、そば打ち、箸づくりのほか、フラワーアレンジメント、肥料袋で作る花や野菜、ドローンでの空撮などの新たな講座を開催することができた。参加者からは楽しかったという感想が多く聞かれた。	3.8 (3.8)	P T A の事業内容および会費の見直しを行っていきたい。また、スムーズな役員選出方法を検討していきたい。
	地域に根ざした 教育活動	2	地域資源や地域連携を活かした取り組みを各コースが行い、それぞれの特色として、成果をあげることができた。		8 割の生徒が地域の人との触れ合う機会が多いと感じている。	4.5 (4.5)	様々な地域の素材を生かした、連携の成果が表れた。今後も更に深めていく取り組みを進めたい